

第3回	糸魚川市駅北復興まちづくり市民会議 記録簿		
日 時	平成30年10月4日 13:30-16:00	場 所	糸魚川商工会議所会議室
出席者	<p>委員：白沢賢二委員、齋藤伸一委員、青木資甫子委員、小林大祐委員、本間寛道委員、木島嵩善委員、小坂功委員、小出薫委員、土田満委員、野村祐太委員、松木美沙子委員、猪又直登委員、小竹貴志委員、竹田しをり委員、齋藤里沙委員、丸山剛委員、室川亜紀委員</p> <p>アドバイザー：伊藤薫氏、江口知章氏、西村浩氏</p> <p>ファシリテーター：吉崎利生氏</p>		
(協議内容)			
<p>1. 開会</p> <p>齊藤復興推進課長により進行</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定刻のため、第3回糸魚川市復興まちづくり市民会議を始めさせていただく。本日の次第は、お手元に配布資料に記載させていただいたとおりである。 <p>2. 委員長挨拶</p> <p>(委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国的な台風被害、北海道の地震等、自然災害が多数発生しているが、糸魚川においては大きな被害もなく、安堵しているところである。 ・ 市民会議も第3回を迎える中、私たちがどういう協議を進めていけばよいかということについて、共通認識を持ちながら進めていきたい。 ・ 第1、2回は復興やにぎわいを中心に議論する中で、これまでに行ってきたイベントの経験を思い浮かべながら議論しがちであった。しかし、アドバイザーから、そういう視点も重要だが、より日常的な市民生活の目線で考えることも必要ではないかという助言を受け、協議を進めてきたところである。また、ファシリテーターから、10年後のまちの姿をイメージしてにぎわいのあり方を検討するよう助言をいただいている。 ・ 事務局には、前回までの議論のまとめとにぎわいの定義について事前に資料を送っていただいた。これを基に、実りある議論を行いたい。 <p>3. 議事</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の会議の進め方についてご説明する。 ・ 本日の議事は、「目指すにぎわいの検討について」である。チームでの検討、全体共有ののち、アドバイザーから講評をいただく。終了は16時を予定している。 ・ それでは、委員長に進行をお願いします。 <p>(委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファシリテーターに進行していただく。 			

(1) 目指すにぎわいの検討について

「オリエンテーション」

(ファシリテーター)

- ・ 本日は駅北のにぎわいの変遷について学んだ後、今後目指すにぎわいのあり方を議論する。

「自己紹介」

- ・ 各グループ内で自己紹介を行った。

「前回までの振り返り」

(ファシリテーター)

- ・ 前回、皆様から出た意見を、「集まる」「暮らす」「心を通わす街」というキーワードに集約した。
- ・ 前回、皆様に書いていただいた「にぎわいのあるべき姿、ありたい姿」を、上記の3つのキーワードに落とし込んで整理・分類し、以下の5つをにぎわいの定義とした。
 - 市内から市外から、目的をもって街に人が集う
 - 糸魚川に魅力を感じた人たちが、たくさん訪れている
 - 駅に降り立った人たちが、街中を回遊している
 - 住民同士の結びつきが強く、一人でも寂しくない
 - 街の環境整備が行われ、利用されている
- ・ グループ内でこの結果について、感想を共有していただきたい。

「グループ内での感想共有」

「にぎわいの変遷をたどる（現状の把握）」

(事務局)

- ・ 5つのにぎわいの定義に該当する施設等や工場の昭和40年代から現在までの立地の変遷を地図上に示している。
- ・ 昭和40～60年代にかけて商業系機能が増え、昭和60年代～現在にかけて分散していつている。
- ・ 昭和40～60年代にかけて、特に駅の南側に変化が見られる。
- ・ 時代の変遷に伴い、商業系機能が中心市街地からその周辺へと変遷していつていることが分かる。
- ・ 宿泊施設や銭湯といった施設の減少、分散も顕著である。

(委員長)

- ・ この地図を見ると変遷が一目でわかる。分散も進んでいるが、数そのものも減っている。

(委員)

- ・ 昔はデンカの社員などで飲食店が大変にぎわっていた。
- ・ 市役所の移転の影響も大きかった。移転した途端、駅北から人通りが減った。
- ・ 昔は街中で結婚式を挙げる人もいたが、今はほぼいない。

【グループ内意見交換・休憩】

「目指す役割、具体的な取り組み」

(ファシリテーター)

- ・ お手元の A3 の紙に質問が 3 つ書いてある。今から、駅北にどのような新しい機能が必要と思うかを考えていただきたい。これを基に、後ほどチーム編成を行うので、まずは個人で検討を進めていただきたい。

【10分経過】

「意見交換、チーム分け」

(ファシリテーター)

- ・ ほかの人の意見を見て回り、「似ているもの」、「違うもの」、「応援したいもの」のうちいずれかの意見の人とチームをつくり、アイデアの結合の作業を進めていただきたい。

「チームでの検討、全体共有」

【30分経過】

(ファシリテーター)

- ・ 各チームからの発表をお願いしたい。

(チーム名：チーム駅 KITA)

- ・ 「KITA」には「北」と「来た」の意味を込めた。
- ・ 「お金を稼げる駅北」が目指す姿である。
- ・ ターゲットは市外の人と学生に設定している。
- ・ 人が来る必然性が生まれる施設（図書館等）があり、それにより人々のコミュニケーションが生まれる街を目指している。
- ・ ヒスイ、ジオパーク、食、御風等の糸魚川の魅力の発信基地、学生が集まって勉強したり話したりできるスペース等があるとよい。

(チーム名：キッズドリーム)

- ・ 「子供連れでも楽しめる駅北～キッズファースト～」が目指す姿である。
- ・ 子どもをターゲットに設定している。
- ・ 学校帰りのたまり場、学生と商店主の会話が生まれる街、子どもがワイワイできる喫茶店、高齢者やママ友が気軽に集まれる場所などをイメージしている。

(チーム名：暮らしのシェア)

- ・ 「仕事のシェア、子育てのシェアなど、様々なシェアが行われる街」が目指す姿である。
- ・ 子育て世代、勤労世代、I・U ターン移住者等がターゲットである。
- ・ 朝、昼、夜それぞれ使いたいと思っている人たちでスペースを借りたり、シェアシアター、シェアショップ、シェアハウス等が駅北にたくさんあるとよい。糸魚川の公共サービスを支える観点でもシェアを活用出来たらよい。

(2) アドバイザーからの講評

(西村アドバイザー)

- ・ 「人がなぜ集まるか」を考える必要がある。施設をつくっただけでは人は来ない。
- ・ 図書館は強力なコンテンツである。人の個性と本の個性をつなぎ、本を通じて人に出会えるような施設ができるとよい。
- ・ 子どもが集まる街も非常によい。子どもが集まる風景を具体的に想像することにより現実性を持たせることができる。
- ・ シェアはビジネスにつながる。市民の発想の転換を促すコンテンツが「シェア」だと考える。ぜひ街中を歩いてみて、「これもシェアできるんじゃないか」ということを考えてみてほしい。たとえば風呂、リビング、シアタールームをシェアすると銭湯、広場、映画館になる。

(伊藤アドバイザー)

- ・ どのアイデアもコンセプトが明確で素敵だと思った。実現に向けたポイントをコメントさせていただく。
- ・ お金の稼げる駅北に関連して事例を紹介したい。山形県の鶴岡市では「食のクリエイティブシティ」として、世界に魅力を発信する取組を行っている。鶴岡の食材や郷土料理の展示、世界中から集めた塩とオイルの展示、世界的シェフが訪れて試しに調理できるテストキッチン等を設けている施設がある。このように、何かに特化して人が来る理由がある街にするとよい。
- ・ キッズファーストの提案は、子ども縁日などキッズニア的な就業体験ができる等の具体的なコンテンツが一つあると、実現につながるのではないかな。
- ・ シェアは良いビジネスにつながる可能性がある。シェアオフィスなどを新しくつくることもよいが、空き店舗、空き倉庫、空き地の活用であったり、農業のビニールハウスや建設会社の倉庫を別の用途で使ってみたりというようなことも考えられる。
- ・ 外国人向けの案内表示や不動産の取引等、今後さまざまな障壁が出てくると思うが、商工会議所や行政など関係者が集まる絶好の場なので、今後もこの場を有効活用してほしい。

(江口アドバイザー)

- ・ 次回もしくは次々回に、市や商工会議所にプレゼンテーションをする機会があると伺っている。またとないチャンスなので、これまでやりたくてもできなかったことを実現するため、ぜひ頑張ってもらいたい。一人でやるのは大変なので、人の意見に乗っかってもらいたい。
- ・ 今後、実現に向けた課題、対策、コスト等を丁寧に把握する姿勢があると、関係者の協力も得られやすい。
- ・ 一方で、ぜひ気楽に取り組んでいただきたい。半農半Xという言葉があるが、たとえば旅館が本業なら半宿半Xで、旅館を経営しながら味噌をつくったり、プリンをつくったり、本業にプラスアルファで様々な活動が生まれると面白い街になる。

(3) その他

(委員長)

- ・ アドバイザーへの質問や全体への共有事項等はないか。

- なければ事務局へお返しする。

4. その他

(1) 次回の会議について

(事務局)

- 次回は11月6日(火)14:00から、市長や商工会議所会頭へのプレゼンテーション(中間報告)を予定している。事前に作戦会議を行っていただきたいため、13:30までに会場へお越しいただきたい。

(2) その他

(事務局)

- 当日18:30からリノベーションまちづくりのシンポジウムを開催予定なので、併せて参加をご検討いただきたい。

5. 閉会

(事務局)

- これにて、第3回糸魚川市駅北復興まちづくり市民会議を終了させていただく。

以上